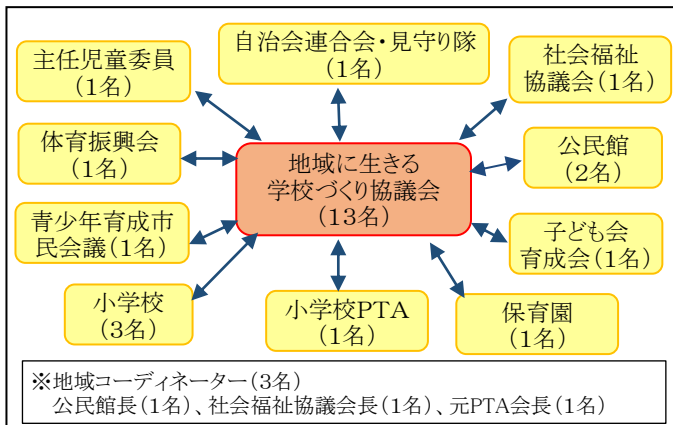


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市春山小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ※開催回数 3回
※開催日程 ①6月19日
②10月28日～11月1日(教育
ウィーク参観によるアンケート回答)
③2月27日
- ※協議内容
- ・本校の教育に関すること
 - ・家庭・地域・学校の連携に関すること
 - ・中学校区教育に関すること
 - ・園小連携に関すること
 - ・地域の人材活用・体験活動に関すること
 - ・学校評価に関すること

(3) 協議会における成果と課題

本校の協議会は、「福井市連合音楽会校内発表会」の後や「6年生を送る会」の後に開催している。また、教育ウィーク中は自由参観とし、ご意見をいただいている。児童の活動を実際に見ていただくことで、本校の教育への理解とさらなる支援につながっている。今後も、地域や家庭と連携して取り組んでいきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童が地域素材を活用し、地域の方や仲間と協働で、主体的に交流活動や体験活動を通して課題解決する中で、地域に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成する。

(2) 活動の実際

①地域の偉人に学ぼう(6年生)

本校区には橋本左内先生の生誕地があり、毎年、生誕祭には6年生が参加している。

この生誕祭に参加することで、橋本左内先生の遺徳を偲び、地域の偉人について学ぼうとする意欲が高まった。橋本左内先生を始め、郷土の偉人について調べ学習を進め、各自が学習テーマを設定した。校外学習では、市立郷土歴史博物館・福井城址・柴田神社を見学したり、学芸員に話を聞いたりして課題を解決した。また、調べていく中で、疑問に思ったことやさらに知りたいことを公民館の「左内塾」の語り部さんから話を聞いた。



そして、学習したことを「左内新聞」にまとめ、10月の「春山まつり」で掲示し、保護者や地域の方に見ていただいた。さらに、「左内学習」が本校の伝統として息づくよう、発表方法も工夫しながら5年生にも発表した。

②ぼくらのほこり福井 さくらプロジェクト(5年生)

昭和16年に校庭に植えられた桜の苗木が、昭和20年の空襲や昭和23年の福井地震にも無事に残り、毎年、春にはきれいな花を咲かせている。

今年度も、これまでの5年生のプロジェクトを引き継ぎ、4月に花数調査を行った。現在の桜

(様式3)

の元気度を確認し、来年度の春に、今年よりもっときれいな桜を咲かせるためにはどうしたらよいかを考え、調べた。インターネットや本で、桜にとってよいこと、よくないことを調べ終えて、改めて桜を観察すると、「葉っぱが食べられている・・・」「調べたときに載ってた虫だ！」など気づきや疑問が出てきた。秋には、「日本花の会」や「立花造園」の専門家とともに桜の健康調査をした。項目ごとに点数をつけて桜の健康状態について調べたところ、やはり全体的にあまり元気がない状態の桜が多かった。そこで、専門家の指導のもと、桜に肥料をあげた。



季節ごとに変化する桜の様子を観察し、その生長にかかわりながら、“生きる”ことの強さを感じ、これからも桜を守っていけるよう、学んだことをしっかりとゲストティーチャーや4年生に発信した。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

児童の調査活動や体験活動を実現するために、必要な人材をコーディネートしていただいた。また、実際の活動についても、児童に寄り添い、的確な助言をしていただいた。

○6年生の「地域の偉人に学ぼう」では、公民館の「左内塾」から、語り部さんを派遣していただいた。また、「左内塾」の語り部さんとして、子どもたちに語っていただいた。さらに、「左内新聞」についてご意見をいただき、キャリア教育に結びつけた内容を新聞に表すことができた。それを「春山まつり」の際に、公民館に掲示していただいた。

○「福井市環境学習プログラム」の運用に係る学校訪問の際に参加していただき、5年生の「ぼくらのほこり福井 さくらプロジェクト」や本校の取組についてご意見をいただいた。

○4年生の「心のバリアフリー」では、地域の社会福祉協議会の協力のもと、充実した学習をすることができた。

○3年生の「春山の宝」さがし隊」では、児童の質問に答えていただいたり、春山地区のことを詳しく説明していただいたりした。

(4) 特に工夫した事項

○歴史や文化施設・商店街等の地域の特性を積極的に活用した。

○図書やインターネットから得られる情報等を活用しながら調査活動を行うだけでなく、地域の方やその道の専門家から直接学ぶ機会を大切にした。

○自分たちが学び、考えたことを、地域や保護者、下級生等に発信する場を設定した。その際、実物投影機やホワイトボードを活用して発表することで、効率よく学習ができた。



(5) 成果と課題

児童一人一人が設定したテーマに沿って調べ、整理したことで、まとめる力や表現力の向上が図られた。6年生では、郷土の偉人を学んだことで、郷土愛が高まり、キャリア教育にもつながった。

活動ボランティアの協力者も多く、地域・家庭・学校が一体となって、連携・協力を密にした教育活動を推進してきたことが、子どもたちの活動意欲の向上につながっている。また、そこでは、知識だけでなく、教えてくださる方の地域への熱い思いも感じ取っていった。その結果、地域に対する理解と愛着をもつとともに、地域の歴史や自然を大切に守っていこうとする気持ちを育てることができた。

今後も、春山地区に誇りと愛着をもつことができる児童を育成していきたい。